



2015-2016 RI テーマ 創立/1954年(昭和29年)6月30日 例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
 世界への プレゼントになる 事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内 会長/玉村一男 幹事/石本茂雄
 TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp 会報委員長/宇野賢治

います。身障者からの依頼もあります。

次に、弁護士の仕事で大切に思っていることをお話しします。依頼者の方との信頼関係です。どんなお仕事でもどんな人間関係についてもいえると思います。弁護士になり立ての時は、依頼者と信頼関係を築くことが出来なくて苦労しました。弁護士に相談に来るときは、人生の絶体絶命のピンチの時です。その時に私を頼ってきてくれますが、全盲の私を見て不安になり、目が見えなくて弁護ができるのですかと言われました。私は悩みました。私を信頼してもらうためにはどうしたらよいか。いろんな本を読んだり、先輩の弁護士にアドバイスをもらったりして、私は1つのことに気が付きました。それは、人間関係というのはいわば鏡写しのようなものということです。相手が心を開いてくれないと感じるときには、自分が肩に力が入っていたり、変に意識をしてしまったりしている時です。なので、自分が誰かに信頼してもらいたいと思うならば、まず自分が相手を信頼する。誰かに理解して貰いたいと思うならば、自分が相手を理解しようと努める。誰かに好きになって貰いたいと思うならば、まず自分が相手を好きになろうと努める。そうすると、それがいわば鏡写しのように相手にも伝わって、結局は自分を信頼し理解し好きになってくれる、人間関係というのはなんとなくそうなのだと気づいてから私はすごく楽になったのです。心を閉ざしていた依頼者も私の事を信頼し理解してくれるようになりました。弁護士の経験を通じてそれを学んできたと思っています。

私の生い立ちの中で、盲学校中学部の時、「ぶつかって、ぶつかって」というその後の人生を大きく変えた1冊の本と出合いました。日本で初めて点字を使って弁護士になった竹下弁護士の本でした。とても大きな衝撃を受けました。私が全盲になってからは、人に手助けを受けながら生きていくのだろうと思っていましたが、弁護士になれば人を助けることが出来る、人生の可能性が広がりました。しかし、4回目の弁護士試験に失敗したときは、頭が真っ白になってしまい、この先の事を両親に相談をしました。母はただ一言「迷った時には自分の心があたたかいと感じる方を選びなさい」と言ってくれました。自分の心が何を求めているのかだけ考えればよいのだと。私の心に問いかけてみました。弁護士を考えるとわくわくしましたし、なんとなくあたたかくなりました。そしてもう1回頑張ろうと思い5回目ようやく合格しました。受験生活を振り返って1つのことに気

が付きましました。夢や希望に向かっているときもうだめだと思ふ瞬間があるが、その時がもう少しで手が届く場所にいるのだと。自分が限界だと思っている先には無限の可能性が広がっているのだということに気が付けば、人生がより豊かになり、人生の深みを得ることが出来ます。

最後に、私が感銘を受けた言葉を紹介致します。それは、「はたして心はどこにあるのか」という言葉です。あるお医者さんから聞いたのですが、みなさんが誰かの事を想ったときに皆さんとその誰かの間にできるものが心なのだと教えてくれました。自分と立場の違う人と接したときにこの言葉を思い出してほしいです。皆さん自身がたくさんの心をぶら下げた心の豊かな皆さんになっていただいて、豊かな人生を歩んでいただきたい、そんな願いを込めまして私の講演を終えたいと思います。長時間にわたりご清聴ありがとうございました。



ニコニコ箱 …… 24,000 円 累計 438,000 円

例会変更情報/福井県内ビジター受付 (10月21日~11月3日)

10月21日	丸岡RC	18:00~18:30	東角建設機入口ロータリー事務所
10月22日	福井RC	12:00~12:30	ユアーズホテルフクイ1階7フロア
10月22日	福井水仙RC	18:00~18:30	福井パレスホテル
10月22日	敦賀西RC	12:00~12:30	プラザ萬象2階ロータリー事務局
10月23日	福井あじさいRC	12:00~12:30	ホテルリバービューアケボノ
10月29日	敦賀西RC	12:00~12:30	プラザ萬象2階ロータリー事務局
10月30日	福井西RC	12:00~12:30	パードグリーンホテル

*変更の無い各クラブの定例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日(10月20日)の例会 炉辺会合発表	10月27日 米山月間に因んで 米山奨学生 裴鍾根(ペジョンゲン)	11月10日 第一例会行事 ロータリー財団 地区資金推進委員会委員 笹尾昌敬氏(鯖江北RC)	11月17日 武生東高校 IAC 合同例会
-------------------------	--	---	-----------------------------

第2976回 例会記録 平成27年10月10日(土)

本日出席会員40名

メイクアップ(前々回) 6名

出席率(前々回補正) 70.91%

ロータリーソング「奉仕の理想」

ロータリーデー記念講演会(越前市文化センター)

会員総数
61名

会長挨拶 第62代会長 玉村一男

皆さん、こんにちは。武生ロータリークラブを代表致しまして、一言ご挨拶申し上げます。



本日は、武生ロータリークラブ主催、後ほど越前市長・奈良俊幸様にもご挨拶頂く訳ではありますが、越前市との共催で「あきらめない心の鍛え方」というテーマで「大胡田誠さんの講演会、大石亜矢子さんのコンサート」を開催する運びとなりました。大胡田・大石ご夫妻には、ご多用中にも関わりませず、この講演会・コンサートを快く引き受けて下さいまして、また本日は東京よりお越し下さいまして誠に有難うございます。そして会場の皆様、ご来場頂きまして誠に有難うございます。

武生ロータリークラブは創立してから62年目でありまして、会員は現在61名でございます。ロータリークラブと言いますのは、自分の職業を通して「奉仕の心」をもって社会の発展、地域の発展に貢献する事を心掛け、また実践している会員の集まりでございます。

本会はロータリーデー記念講演会として、また越前市制10周年記念事業という事で開催致しておりますが、同時に越前市教育委員会、越前市社会福祉協議会、越前市身体障害者福祉連合会、PTA連合会様

を始め多数の団体、企業様よりご後援を頂いております。そして本日の運営に当たりましては、越前市赤十字奉仕団の方々や、武生東高校インターアクトクラブの皆様にご協力頂いております。皆様方に重ね重ね心より御礼申し上げます。次第でございます。

本日は大胡田、大石ご夫妻のご講演、コンサートを皆様と共に聴きまして、私たちのこれからの生き方につきまして一緒に考える機会になればと思う次第でございます。また、会場のホワイエには障害者就労支援施設とその事業活動の紹介のパネルを展示してございます。この現状を多くの越前市民の皆様知って頂きまして、障害者の方々の社会進出や雇用の創出に理解と協力をお願いするという目的からでございます。お帰りの際にご覧頂いたら幸いです。それではこれから、皆様と共に「大胡田誠さん・大石亜矢子さんの講演会とコンサート」を楽しみたいと思います。甚だ簡単ではありますが、開会のご挨拶と致します。本日は皆様、お集まり頂き誠に有難うございます。

プログラム

演題：あきらめない心の鍛え方 大胡田誠弁護士

弁護士になってまもなく8年、いろいろな経験を積んで自信もついてきたところです。弁護士はそれぞれ得意分野があります。刑事裁判を多く手掛けて



いる弁護士、大手企業の顧問をされている弁護士、TVのコメンテーターをされている方はタレ弁、私は町弁です。町医者からきています。私のところへ来る人は一般の方で、離婚や相続、お金の貸し借り、交通事故のトラブルなどが私の仕事の多くを占めて